

埼玉県警察山岳救助隊からの安全登山講話開催

平成 30 年 1 月 20 日（土）13 時半から浦和の埼玉会館会議室にて、『今、山で何が起きているか！』のテーマのもと、山岳救助隊連絡指導班の飯田雅彦氏による講演会が開かれた。会場には、一般 24 人、埼玉支部員 20 人、J A C 会員 3 人の 47 人が集まった。

講演内容は、昨年の埼玉県遭難発生状況が 63 件(70 人)あり、うち死者 10 人、重傷 22 人、軽傷 13 人、無事救助 24 人、行方不明 1 人とのことである。発生原因としては、道迷いや滑落が多くを占め、脳内出血・熱中症・過呼吸などの急病が 4 件あった。年齢的には、40 歳以上の遭難者が全体の 71,4%、60 歳以上の遭難者が 40%との説明があった。話は、昨年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの遭難発生状況の表に基づき、入山域・原因・性別・年齢・死傷別などの説明がなされ、参加者の身近な山だけに皆、熱心に聞き入っていた。特に認知症と思われる事例については、皆、我が身でもおかしくないと他人ごとではない雰囲気があった。質疑応答やアンケートにいろいろな意見が寄せられ、この講演会は、今後もぜひ続けてほしいとの意見が多くあった。

